

デジタルAVミキサー

品番 WJ-MX12

取扱説明書

■この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。

保証書別添

上手に使うと上手に節電



目次

概要	1
主な特長	1～2
使用上のご注意	3
各部の名称と働き	4～9
操作面	4～6
前面	7～9
後面	7～9
接続のしかた	10
パネルスイッチと信号の流れ図	11
タイトルカードの作りかた	12
キャラクタージェネレーターの準備	12
操作のしかた	13～29
デジタル映像	13、14
スーパーインポーズモード	15、16
音量調整	17
カラーコレクタ	18
フェードイン／フェードアウト	19、20
ミックスモード	21、22
ワイプモード	23、24
デジタル映像とのミックス／ワイプモード	25、26
プログラマブル・エフェクト	27、28
オートテイク	29
故障とありましたら	30
定格・付属品	31
アフターサービスについて	32

このたびは、パナソニック デジタル AV ミキサーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

概要

本機はVTRの映像出力など、2つの非同期映像信号を同期結合(フレームシンクロナイザー内蔵)し、ワイプ、ミックス、スチル、ストロボ、モザイク、ペイント、ネガ、カラーコレクトなどの特殊効果を行うことができます。また、テロップカメラからスーパーインポーズされた文字(タイトル)にはふちどり、シャドーの特殊効果を行うことができます。

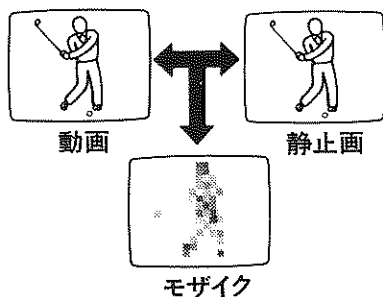
S-VHSなどのY/C入出力を備え、音声はSOURCE 1、SOURCE 2、AUX、MICのミキシングが可能です。またフェードイン、フェードアウトは、映像、音声、タイトルの3系列を別々に行うことが可能で、17種類のワイプモード、8種類のバックカラー機能に加え、キャラクタージェネレーターも接続可能です。

主な特長

デジタル効果機能

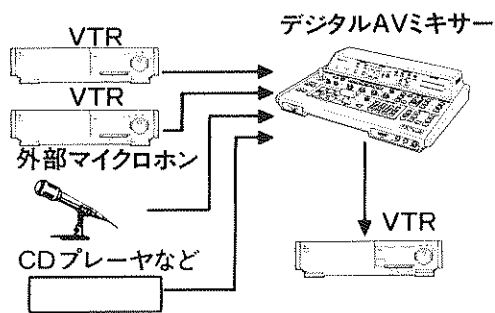
モザイク、ペイント、静止画、ストロボ、ネガなどの効果により、変化に富んだ画像作成が行えます。

(13,14ページ参照)



音声ミキシング

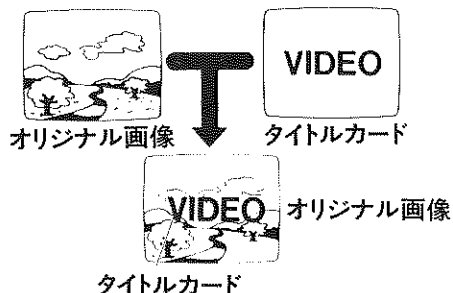
外部マイクロホンを含む4種類の音声をミキシングできます。(17ページ参照)



スーパーインポーズ機能

本機に接続されたカメラからの入力信号は画面上にスーパーインポーズできます。

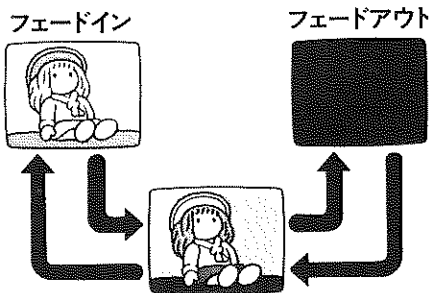
(15,16ページ参照)



フェード機能

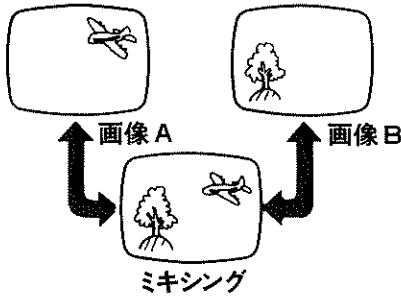
音声、映像、タイトルのフェードイン/フェードアウトは、テープ作成の必要に応じ別々、または組み合わせて使用することができます。

(19,20ページ参照)



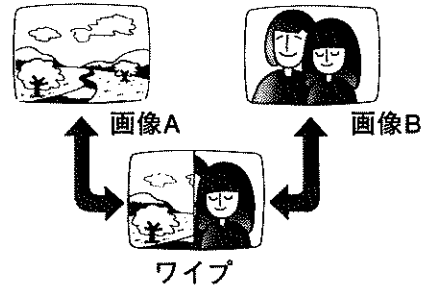
ミックスモード

- 画像Aと画像Bをミックスさせることができます。
(21,22ページ参照)



ワイプモード

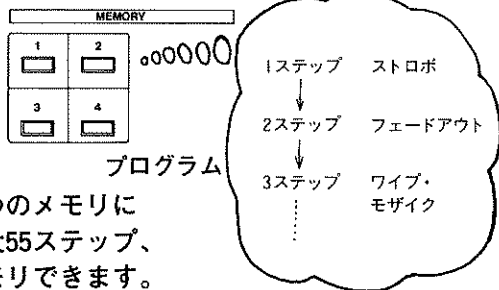
- 画像Aと画像Bを、お好みのワイプパターンにワイプさせることができます。
(23,24ページ参照)



プログラマブル・エフェクト機能

手操作では追いつかない複雑な連続効果をメモリしておき、ワンタッチで実行できます。4種類のプログラムをメモリできます。

(27,28ページ参照)



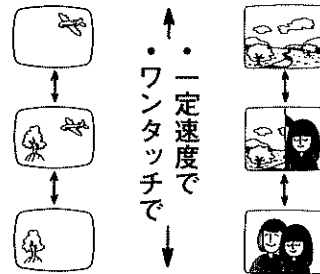
※1つのメモリに
最大55ステップ、
メモリできます。

オートテイク機能

ミックスモード、ワイプモード時のレバー操作をワンタッチで実行できます。

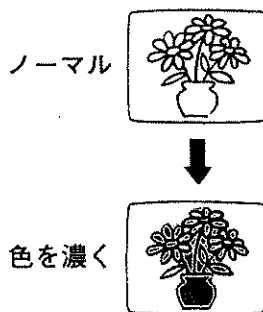
一定速度を保ちたいとき有効です。(29ページ参照)

- ミックスモード
- ワイプモード



カラーコレクタ機能

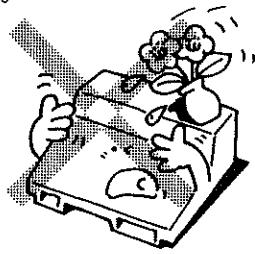
画像の色の濃さや色調を変えることができます。
(18ページ参照)



使用上のご注意

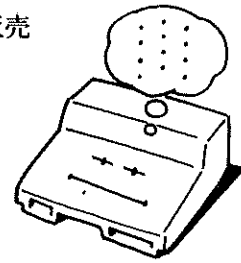
雨や水がかからないように

内部に水やほこりが入ると故障や事故の原因となります。



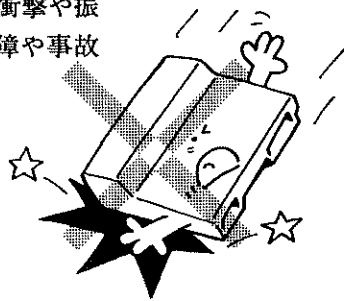
本機に異常があるときは

使用中に突然映像が出なくなったなどの異常を生じた場合はすぐに電源を切り、販売店にご連絡ください。



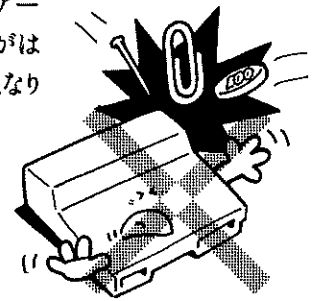
取り扱いはていねいに

落下させたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因となります。



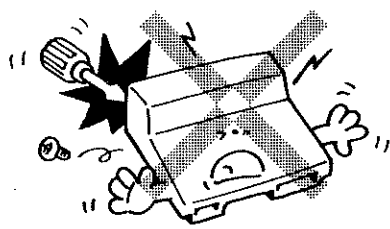
異物をいれない

本機の内部に縫い針、ヘアピン、硬貨などの金属物がはいると感電や故障の原因となります。



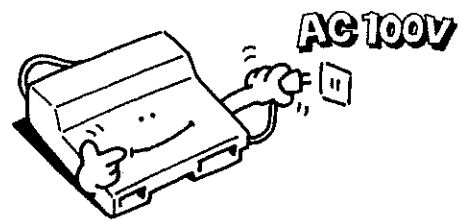
内部には触れないで

内部に触れると感電や故障の原因となります。



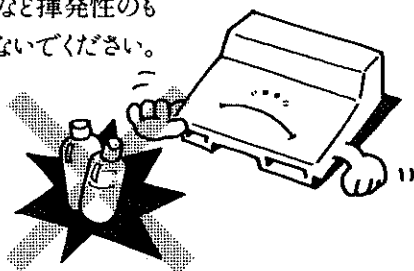
交流 100 Vを使用

必ずAC 100 Vに接続してください。



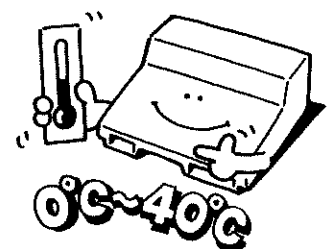
お手入れは

台所用洗剤を布にしみ込ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。



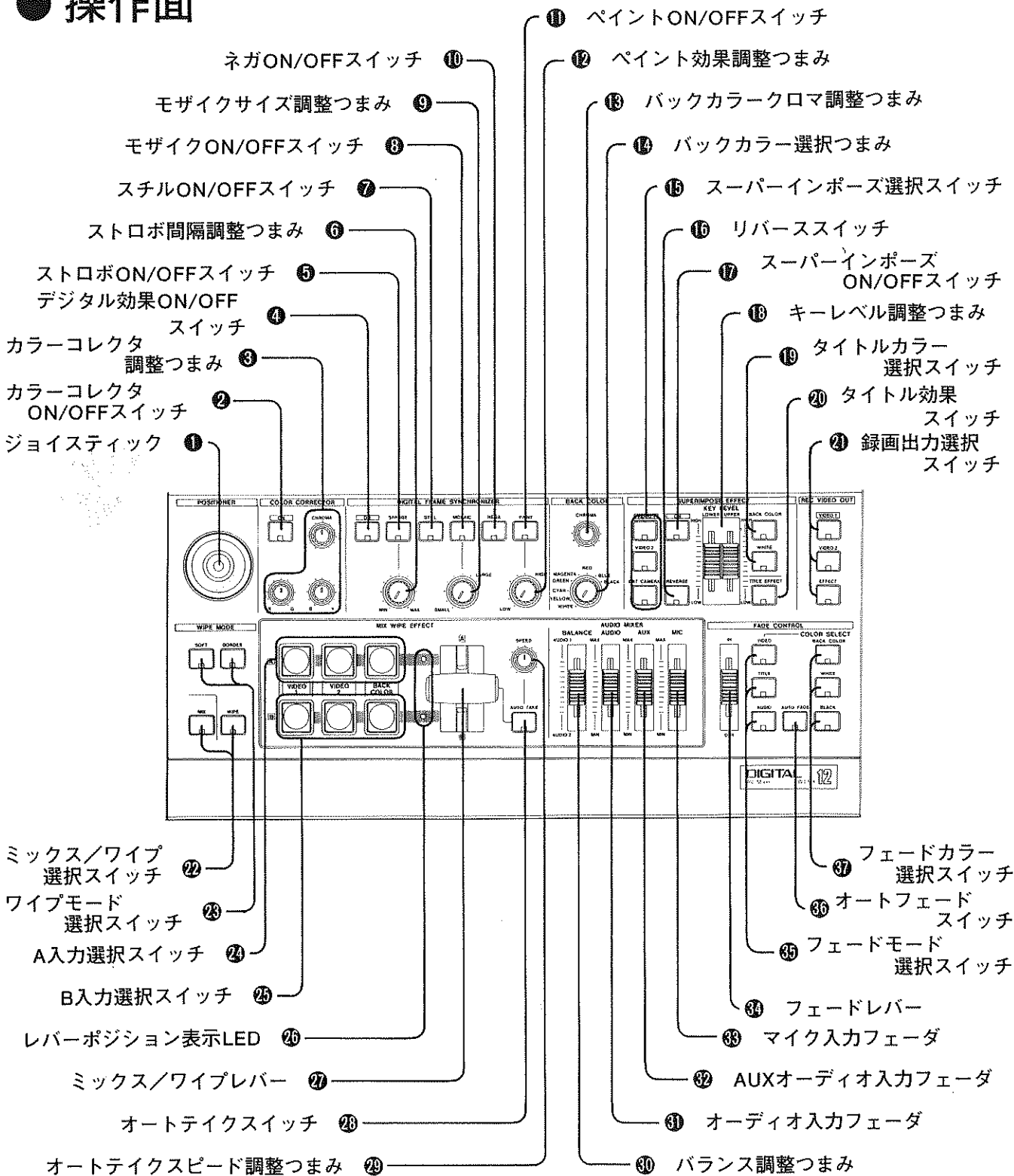
使用周囲温度は 0°C~+40°C

0°C以下の寒い所や+40°C以上の暑い所では内部の部品に悪影響を与えます。



各部の名称と働き

● 操作面



- ① ジョイスティック [POSITIONER]
ワイプパターン選択スイッチ④で選んだ、丸(○)または四角(□)のワイプパターンの位置を変えられます。
- ② カラーコレクタON/OFFスイッチ [COLOR CORRECTOR/ON]
ビデオ1の画像の、色の濃さや色調を変えるためのスイッチです(18ページ参照)
- ③ カラーコレクタ調整つまみ [COLOR CORRECTOR/CHROMA G/R, Y/B]
カラーコレクタON/OFFスイッチ②がONのとき、色の濃さ、色調を調整します。
CHROMA：色の濃さ 右にすると濃くなります。
G/R：色調 R方向にすると赤っぽく、G方向にすると緑っぽくなります。
Y/B：色調 B方向にすると青っぽく、Y方向にすると黄っぽくなります。

ご注意
カラーコレクタ効果は、静止画中は働きません。

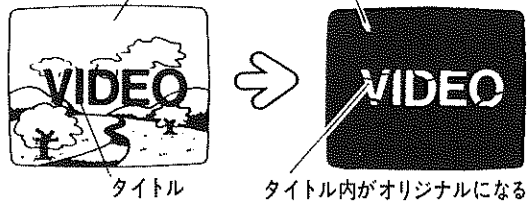
- ④ デジタル効果ON/OFFスイッチ [ON]
スチル・ストロボ・モザイク・ペイント・ネガなどのデジタル効果のON/OFFスイッチです。
- ⑤ ストロボON/OFFスイッチ [STROBE]
ビデオ1の画像にストロボ効果を与えます。
- ⑥ ストロボ間隔調整つまみ [MIN/MAX]
ストロボ効果の間隔時間を約0.2秒~2秒の間で調整します。
- ⑦ スチルON/OFFスイッチ [STILL]
ビデオ1の画像を静止画にします。
- ⑧ モザイクON/OFFスイッチ [MOSAIC]
ビデオ1の画像にモザイク効果を与えるためのスイッチです。
- ⑨ モザイクサイズ調整つまみ [SMALL / LARGE]
モザイクの大きさを8段階に調整します。
- ⑩ ネガON/OFFスイッチ [NEGA]
ビデオ1の画像を反転させ、ネガ画像にするためのスイッチです。

ご注意
静止画中やストロボ効果中に、ネガスイッチのON/OFFはできません。

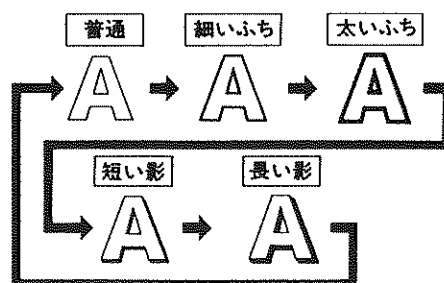
- ⑪ ペイントON/OFFスイッチ [PAINT]
ビデオ1の画像にペイント効果を与えます。
- ⑫ ペイント効果調整つまみ [LOW/HIGH]
ペイント効果のグラデーションを6段階に調整します。

- ⑬ バックカラークロマ調整つまみ [BACK COLOR/CHROMA]
バックカラーの色の濃さを調整します。
- ⑭ バックカラー選択つまみ [BACK COLOR]
ミックス・ワイプ・スーパーインポーズ・フェード用のバックカラー・ボーダーワイプのボーダー色を選択します。
- ⑮ スーパーインポーズ選択スイッチ [VIDEO 1/VIDEO 2/EXT CAMERA]
これらの3つのスイッチは、スーパーインポーズをするための画像を選択します。
VIDEO 1：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ1に入力された映像信号が選択されます。
VIDEO 2：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ2に入力された映像信号が選択されます。
EXT CAMERA：後面パネルの「EXT CAMERA IN」に入力された映像信号が選択されます。

- ⑯ リバーススイッチ [REVERSE]
オリジナル画像とタイトルカラーが反転します。オリジナル画像 タイトルの色になる



- ⑰ スーパーインポーズON/OFFスイッチ [SUPER IMPOSE EFFECT/ON]
スーパーインポーズをON/OFFします。
- ⑱ キーレベル調整つまみ [KEY LEVEL/LOWER, UPPER]
スーパーインポーズがきれいに映るように調整します。(16ページ参照)
- ⑲ タイトルカラー選択スイッチ [COLOR SELECT/BACK COLOR, WHITE]
スーパーインポーズタイトルの色を、バックカラー選択つまみ⑭で選択する色か、または白にするか選択します。
- ⑳ タイトル効果スイッチ [TITLE EFFECT]
続けて押すと、スーパーインポーズタイトルが次のように変化します。



㉑ 録画出力選択スイッチ [REC VIDEO OUT/VIDEO 1, VIDEO 2, EFFECT]

後面パネルの録画出力コネクタ①⑦の映像出力信号を選択します。

VIDEO 1：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ1に入力された映像信号が選択されます。

VIDEO 2：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ2に入力された映像信号が選択されます。

EFFECT：特殊効果映像信号(スーパーインポーズ、ミックス/ワイプ、フェード)が選択されます。

㉒ ミックス/ワイプ選択スイッチ [MIX/WIPE]

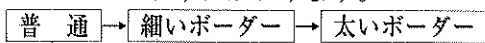
ミックスまたはワイプモードを選択します。

㉓ ワイプモード選択スイッチ [WIPE MODE/SOFT, BORDER]

ワイプモードのとき、ワイプの境界のふちどりを選択します。

SOFT：ワイプの境界がぼけた感じになります。再度押すと戻ります。

BORDER：ワイプの境界にふちどりがつきます。続けて押すと、次のようにかわります。



ボーダーの色は、バックカラー選択つまみ⑭で選択された色の補色になります。(24ページ参照)

㉔ A入力選択スイッチ [VIDEO 1, VIDEO 2, BACK COLOR]

ミックス/ワイプレバーのA側の画像を選択します。

VIDEO 1：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ1に入力された映像信号が選択されます。

VIDEO 2：入力モード選択スイッチ⑩によってビデオ2に入力された映像信号が選択されます。

BACK COLOR：バックカラー選択つまみ⑭によって設定されたバックカラーが選択されます。

㉕ B入力選択スイッチ [VIDEO 1, VIDEO 2, BACK COLOR]

A入力選択スイッチと同様に、ミックス/ワイプレバーのB側の画像を選択します。

㉖ レバーポジション表示LED

ミックス/ワイプレバー②⑦の状態をLED表示します。

状態	AのLED	BのLED
完全にA側に倒れているとき	点灯	OFF
A側に近いとき	点滅	OFF
B側に近いとき	OFF	点滅
完全にB側に倒れているとき	OFF	点灯

㉗ ミックス/ワイプレバー [A, B]

ワイプモードで、このレバーをAからBに移動すると、B側の入力画像が増加します。ミックスモードでは、A側とB側の画像が合成されながら徐々に切り換わります。

㉘ オートテイクスイッチ [AUTO TAKE]

ミックス/ワイプレバー操作をワンタッチで行います。

㉙ オートテイクスピード調整つまみ [SPEED]

オートテイク動作の速さを調整します。右にまわすと速くなります。

㉚ バランス調整つまみ [BALANCE/AUDIO 1, AUDIO 2]

後面パネルの「SOURCE 1」に入力された音声信号と、「SOURCE 2」に入力された音声信号のバランスを調整します。

㉛ オーディオ入力フェーダ

[AUDIO/MAX, MIN]

オーディオ1とオーディオ2をミックスした音量を調整します。

㉜ AUXオーディオ入力フェーダ

[AUX/MAX, MIN]

後面パネルの「AUX AUDIO IN」に入力された音量を調整します。

㉝ マイク入力フェーダ [MIC/MAX, MIN]

マイクロホンの音量を調整します。

㉞ フェードレバー [IN/OUT]

このフェーダをOUTからINに移動させるとフェードモード選択スイッチ④⑤によって選択された画像、タイトル、音量などがフェードインします。フェードアウトはフェーダをINからOUTに移動させることによってできます。

㉟ フェードモード選択スイッチ

[VIDEO, TITLE, AUDIO]

3つのスイッチは、フェードモードを選択するスイッチです。(19,20ページ参照)

㊱ オートフェードスイッチ [AUTO FADE]

フェードイン、フェードアウトをワンタッチで行います。

㊲ フェードカラー選択スイッチ [COLOR SELECT/BACK COLOR, WHITE, BLACK]

3つのスイッチは、画像をフェードアウトさせた時の色を選択するスイッチです。BACK COLOR：バックカラー選択つまみ⑭

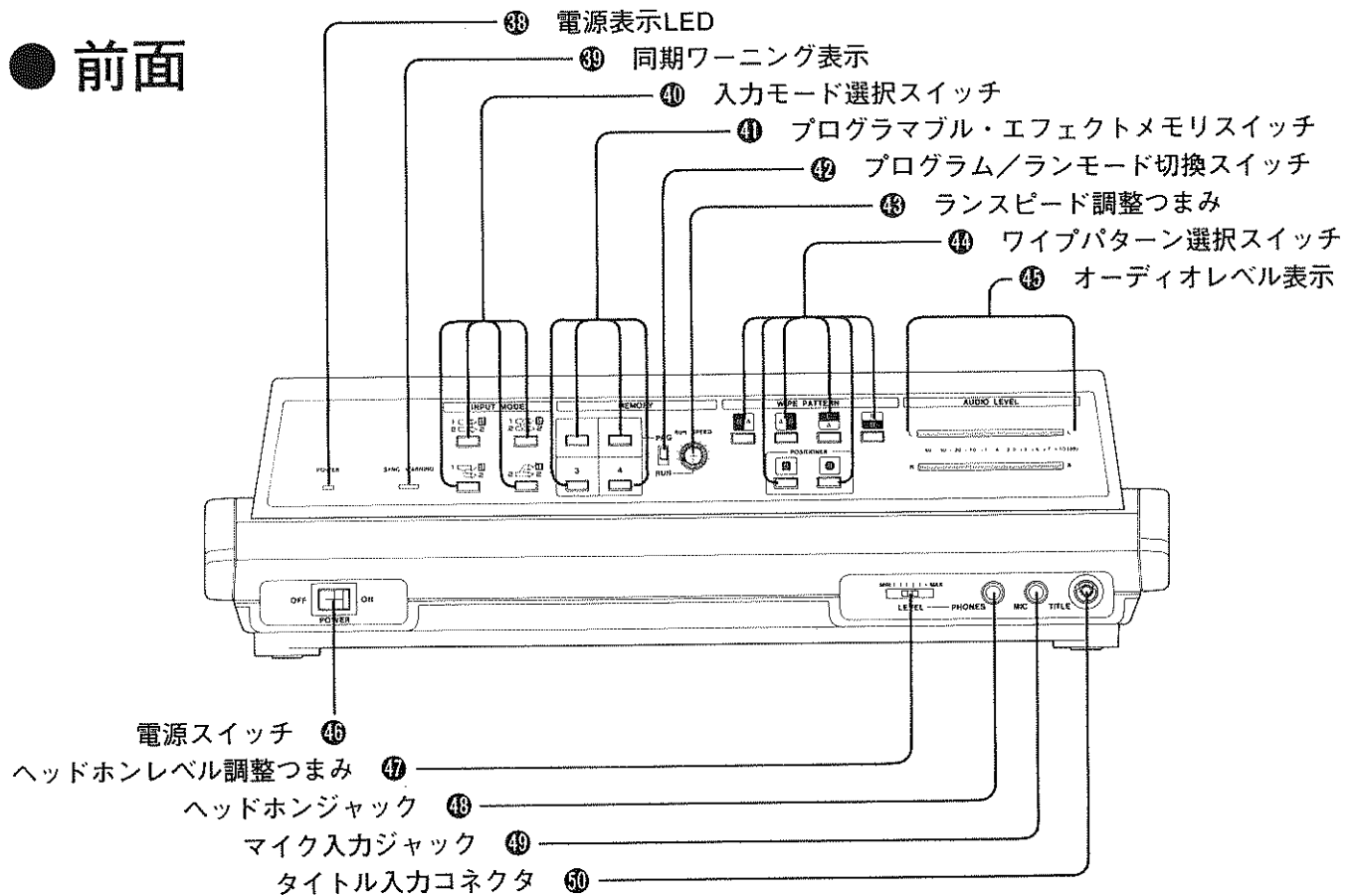
によって設定されたバックカラーが選択されます。

WHITE：白くなります。

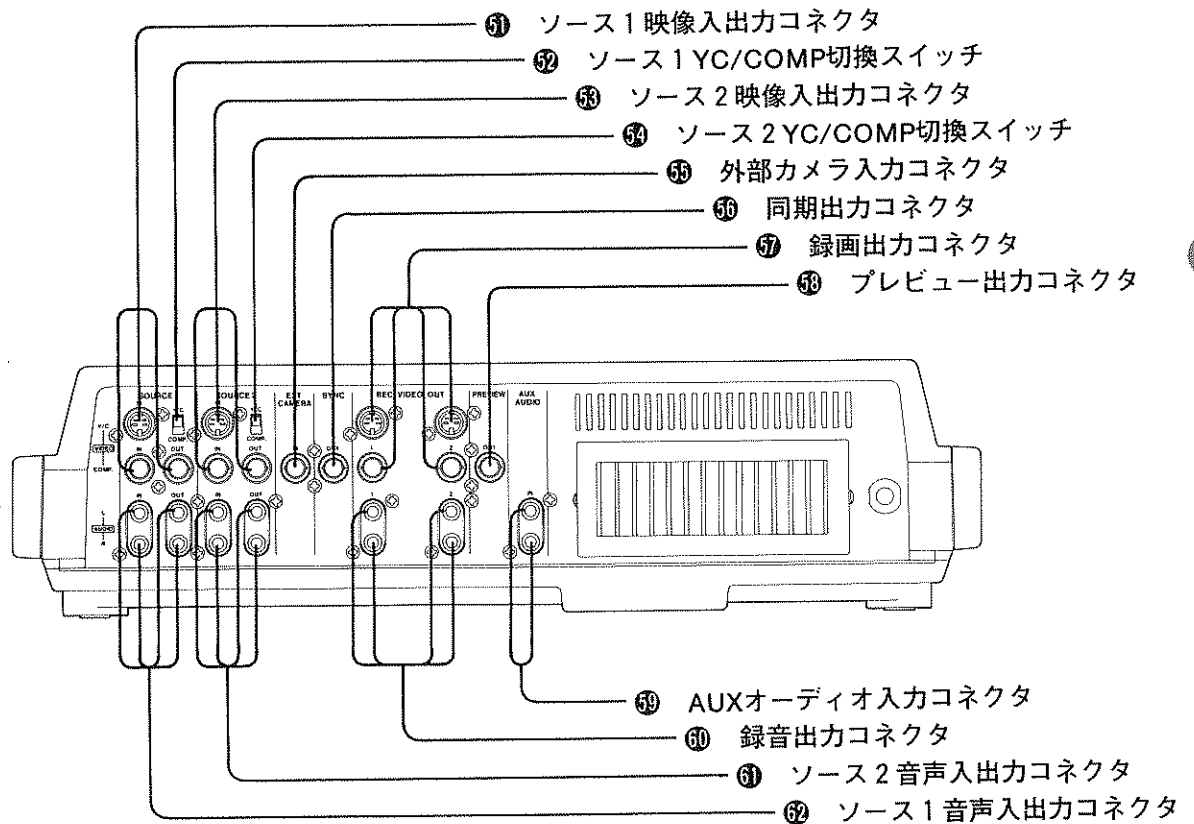
BLACK：黒くなります。

各部の名称と働き

● 前面



● 後面



③⑧電源表示LED[POWER]

③⑨同期ワーニング表示[SYNC WARNING]

下記の同期状態を表します。

緑色：ビデオ2に複合映像信号(映像信号と同期信号が含まれているもの)が入力されている状態を表します。この時、機器内部の同期信号発生器は「VIDEO 2」に入力された信号でゲンロックされています。

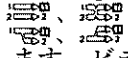
橙色：ビデオ2に複合映像信号が入力されていない状態を表します。この時、同期は内部同期になっています。

赤色：同期が乱れたとか、不安定な状態を表します。この時、機器内部の同期信号発生器は、ビデオ2に入力された信号が未録画のため内部同期になっています。

ご注意


ダビングを重ねたテープを映像ソースに使用しますと、ミキシングに支障をきたす場合がありますのでご注意ください。


④⑩入力モード選択スイッチ[INPUT MODE]


4つのスイッチ()は、次の入力モードを選択します。ビデオ1に選択された信号はデジタル効果がかかります。


ソース1…後面のソース1映像入出力コネクタ①に入力された映像信号

ソース2…後面のソース2映像入出力コネクタ②に入力された映像信号

 : ソース1映像入出力コネクタ①に入力された映像信号をビデオ1として使用し、ソース2映像入出力コネクタ②に入力された映像信号を、ビデオ2として使用します。

 : ソース1映像入出力コネクタ①に入力された映像信号をビデオ2として使用し、ソース2映像入出力コネクタ②に入力された映像信号を、ビデオ1として使用します。

 : ソース1映像入出力コネクタ①に入力された映像信号を、ビデオ1、ビデオ2として使用します。

 : ソース2映像入出力コネクタ②に入力された映像信号をビデオ1、ビデオ2として使用します。

ご注意

これらのスイッチを切り換えたとき、映像出力が乱れることがありますので、ご注意ください。

④⑪プログラマブル・エフェクトメモリスイッチ[MEMORY/1, 2, 3, 4]

プログラマブル・エフェクトを記憶させるスイッチです。(27,28ページ参照)

④⑫プログラム/ランモード切換スイッチ[PRG/RUN]

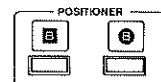
プログラムしたい効果を書き込む(プログラムする)時に「PRG」側にします。通常は「RUN」側にしてください。

④⑬ランスピード調整つまみ[RUN SPEED]

プログラムした効果を実行するときの速度を変えるつまみです。

④⑭ワイプパターン選択スイッチ[WIPE PATTERN]

ワイプパターンを選択します。



丸と四角は下側の2つのスイッチで選択できます。

上側の4つのスイッチの組み合わせで、下記のように15種類のワイプパターンを選択することができます。

		WIPE PATTERN														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1		○														
2			○													
3				○												
4					○											

④⑮オーディオレベル表示[AUDIO LEVEL]

左右チャンネルの出力レベルを表示します。

④⑯電源スイッチ[POWER/ON, OFF]

④⑰ヘッドホンレベル調整つまみ

[LEVEL/MIN, MAX]
ヘッドホンの音量を調整します。

④⑱ヘッドホンジャック[PHONES]

8Ω, -30dB
大型単頭プラグのステレオヘッドホンを接続します。音声のフェードイン/アウト(19, 20ページ参照)に関係なく常に音声出力されます。

④⑲マイク入力ジャック[MIC]

-60dB、不平衡
大型単頭プラグのマイクロホンを接続します。

④⑳タイトル入力コネクタ[TITLE]

キャラクタージェネレーター(別売)を接続します。

ご注意

この場合、キャラクタージェネレーターの下記機能は働きません。

- ストップウォッチ
- タイトルカラー設定
- タイトルページ表示

⑤1 ソース1 映像入出力コネクタ

[SOURCE 1/IN, OUT]

カメラの映像出力(1.0Vp-p 75Ω)をIN側に接続しますと75Ω自動終端となります。さらにOUT側にBNCコネクタ付同軸ケーブルを接続しますと、ハイインピーダンス映像ループが自動的に選択されます。

⑤2 ソース1 YC/COMP切換スイッチ

[Y/C, COMP]

ソース1の入力をコンポジットにするか、Y/Cにするかを切り換えるスイッチです。

⑤3 ソース2 映像入出力コネクタ

[SOURCE 2/IN, OUT]

カメラの映像出力(1.0Vp-p 75Ω)をIN側に接続しますと75Ω自動終端となります。さらにOUT側にBNCコネクタ付同軸ケーブルを接続しますと、ハイインピーダンス映像ループが自動的に選択されます。

⑤4 ソース2 YC/COMP切換スイッチ

[Y/C, COMP]

ソース2の入力をコンポジットにするか、Y/Cにするかを切り換えるスイッチです。

⑤5 外部カメラ入力コネクタ

[EXT CAMERA IN]

外部同期入力端子付カメラの映像出力(1.0Vp-p 75Ω)を接続します。

⑤6 同期出力コネクタ [SYNC OUT]

外部カメラ入力コネクタ⑤5に接続したカメラの同期用に1.0Vp-p 75Ωの同期信号が出力されます。

⑤7 録画出力コネクタ

[REC VIDEO OUT/1, 2]

録画出力選択スイッチ②1によって選択された映像信号(1.0Vp-p 75Ω)が出力されます。

⑤8 プレビュー出力コネクタ [PREVIEW OUT]

特殊効果映像信号(1.0Vp-p 75Ω)が常時出力されます。

⑤9 AUXオーディオ入力コネクタ

[AUX AUDIO IN/AUDIO L, R]

CDプレーヤなどからの音声信号(-10dB, 15kΩ)を接続します。

⑥0 録音出力コネクタ [AUDIO L, R]

VTRの音声入力に接続します。

⑥1 ソース2 音声入出力コネクタ

[SOURCE 2/AUDIO L, R]

VTRなどからの音声信号(-10dB, 15kΩ)をIN側に接続します。同じ音声信号(ループスルー)がOUT側より出力されます。

⑥2 ソース1 音声入出力コネクタ

[SOURCE 1/AUDIO L, R]


VTRなどからの音声信号(-10dB, 15kΩ)をIN側に接続します。同じ音声信号(ループスルー)がOUT側より出力されます。

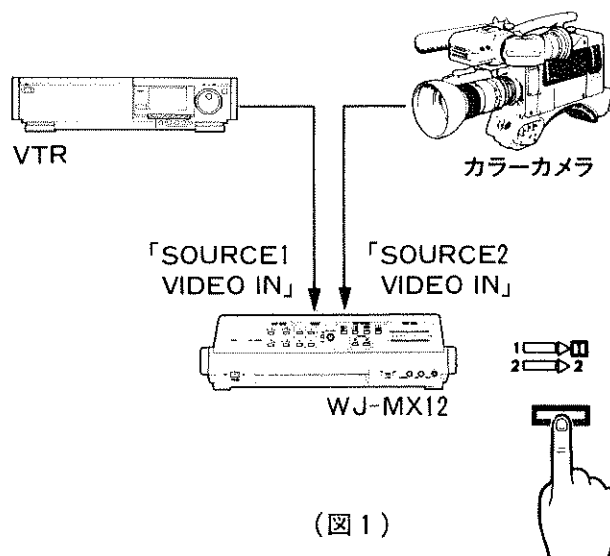
映像ミキシングするときのご注意

● VTRからの再生信号とカメラからの映像信号をミキシングする場合

VTRでジッターの影響によりカメラ側の画像が細かくゆれる場合があります。

そのような場合、入力モード選択スイッチ④で、VTRからの再生信号をビデオ1として、カメラからの映像信号をビデオ2として使用することをお奨めします。(図1参照)

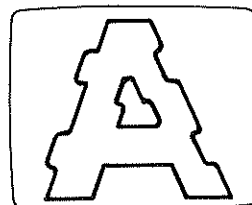
[例] 下記のように接続したいときは、を押します。



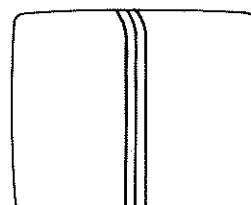
* 使用するテープやモニターによって、スーパーインポーズされた文字のふちなどが細かくゆれて見えたり(図2)、画面上部がカール(図3)する場合があります。

* コピー防止用信号の入っているテープを使用したとき。

* ダビングを重ねた画質の悪いテープを使用したとき。



(図2)





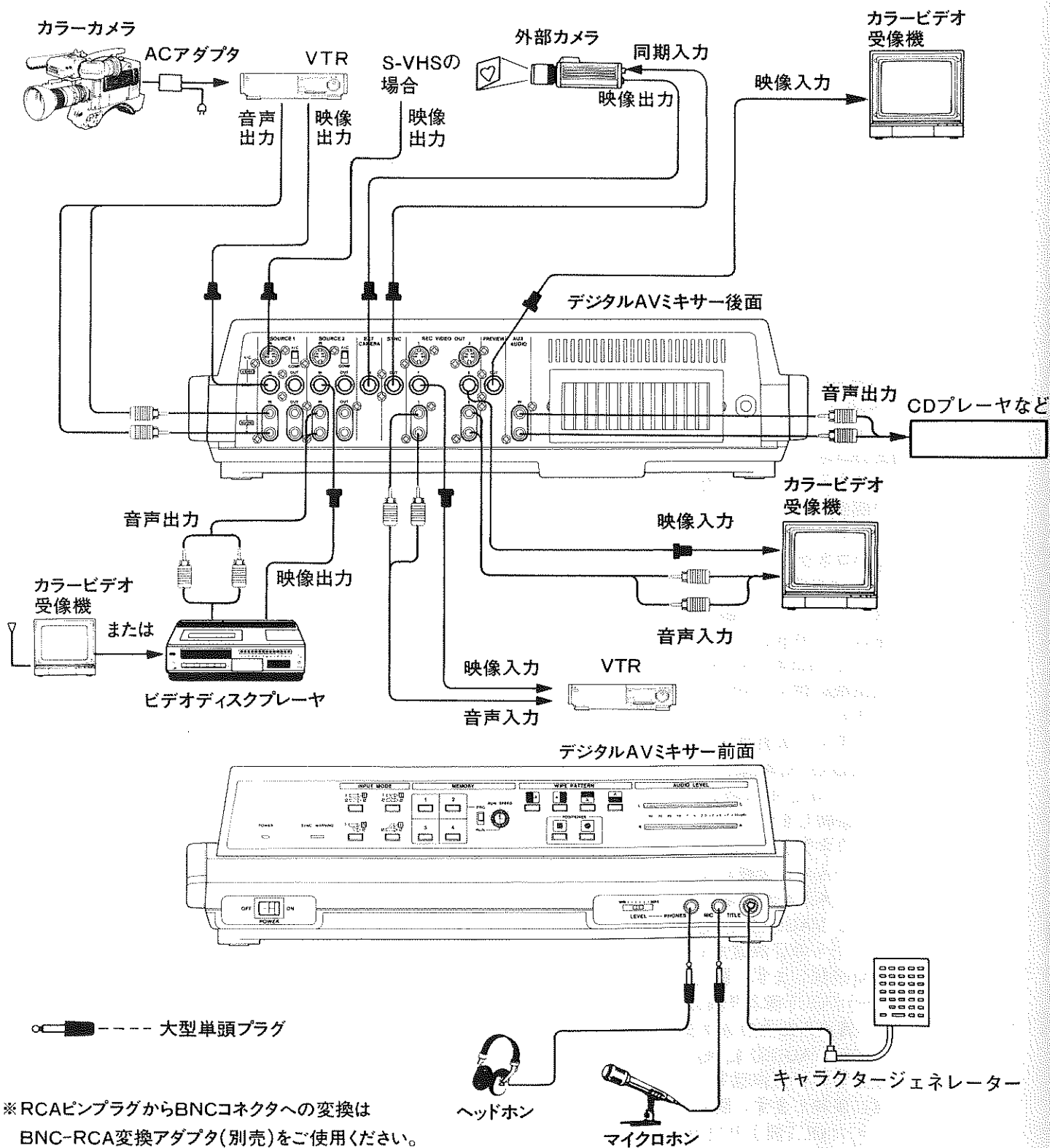
(図3)

接続のしかた

ご注意

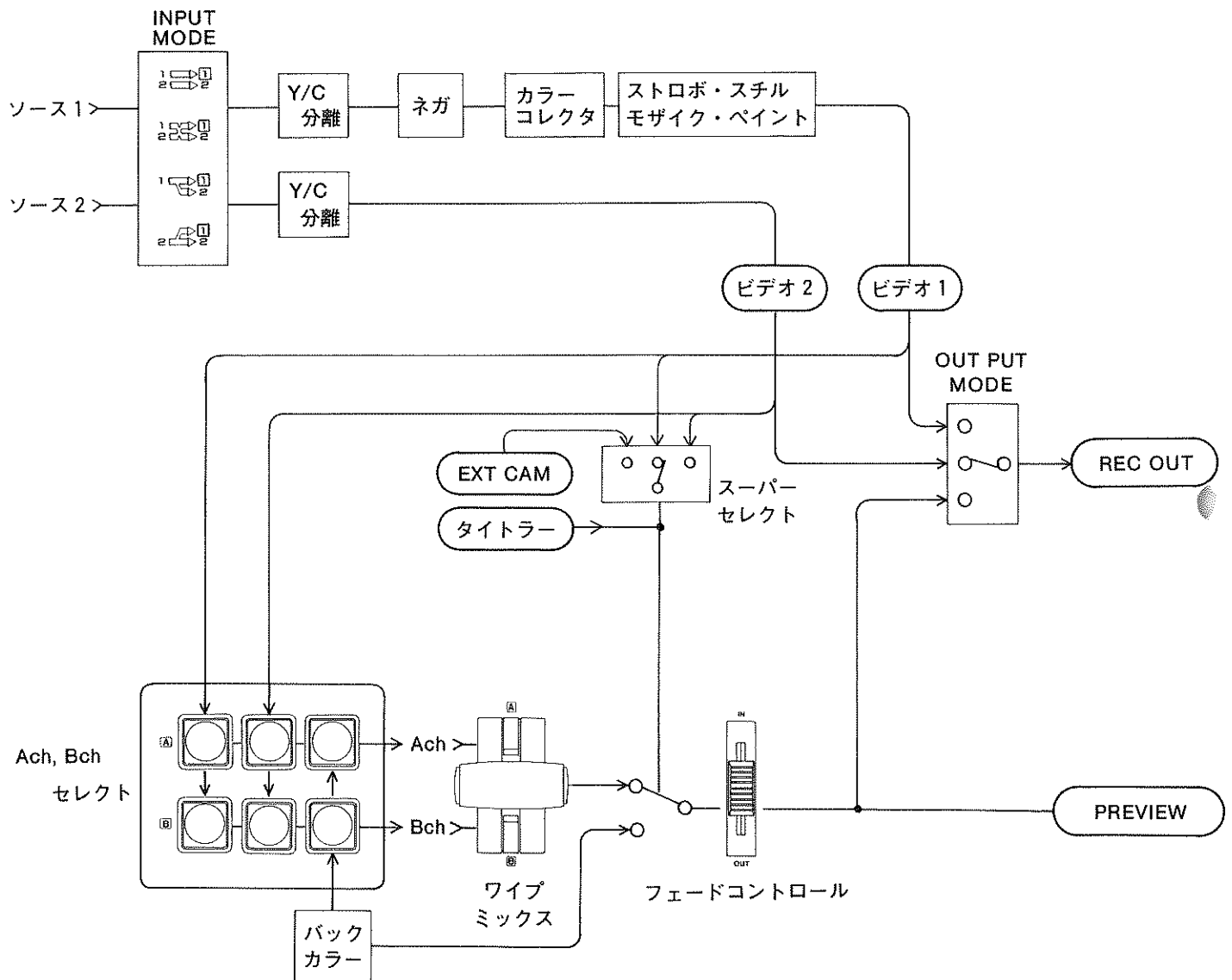
- 接続するときは各機器の電源を切ってください。
- 接続は最後までしっかりと差し込んでください。
- 使用するカメラのピントを合わせてください。
- 接続する各機器の取扱説明書もよくお読みください。

 ----- BNCコネクタ
 ----- RCAピンプラグ



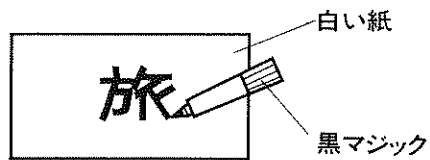
※ RCAピンプラグからBNCコネクタへの変換は
 BNC-RCA変換アダプタ(別売)をご使用ください。

パネルスイッチと信号の流れ図



タイトルカードの作りかた

- お好みの文字や絵柄を書いてスーパーインポーズ (15、16ページ参照) するときのタイトルを作ります。



×
旅

VIDEO

細い字

○
旅

VIDEO

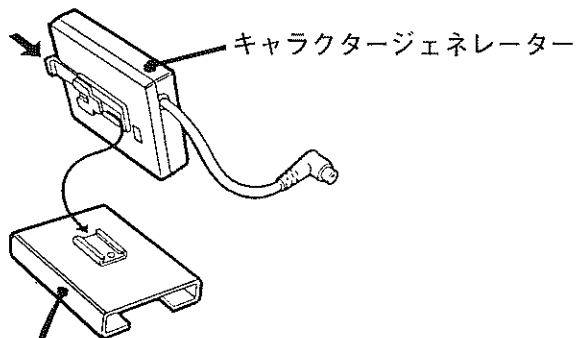
太くむらのない字

ご注意

- 文字が細すぎたり、複雑な漢字ですときれいに出ないことがあります。
- 使用するモニタ画面にタイトルが納まるように書いてください。

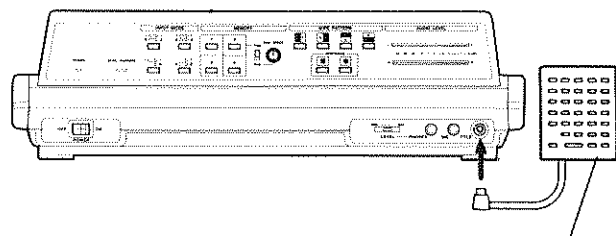
キャラクタージェネレーターの準備

1. キャラクタージェネレーター取付ベース (付属) に、キャラクタージェネレーターを取り付けます。



キャラクタージェネレーター取付ベース

2. タイトル入力コネクタ⑥にキャラクタージェネレーターのケーブルを接続します。



操作のしかた

■操作のまえに

●本機とカラーカメラ、VTR、カラービデオ受像機、CDプレーヤなどの別売品を「接続のしかた(10ページ)」のとおり接続し、それぞれの電源を入れます。

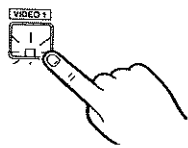
●画面に出したいものや必要なタイトルカードを準備します。

デジタル映像

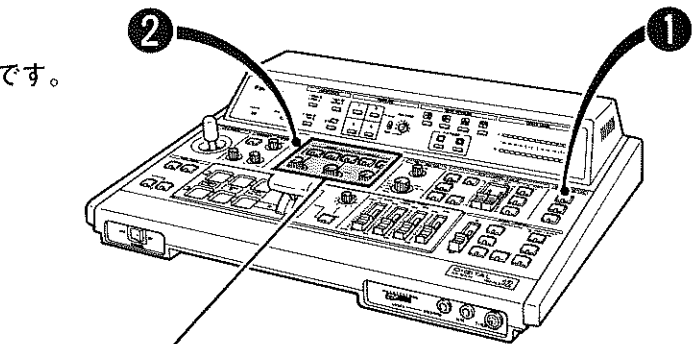
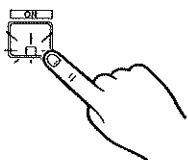
1. 基本操作

※デジタル効果は「ビデオ1」の画像にのみ有効です。

①録画出力選択スイッチの「VIDEO 1」を押します。(LEDが点灯します)



②デジタル効果ON/OFFスイッチを「ON」にします。(LEDが点灯します)



ストロボにするとき(13ページ上枠)
静止画にするとき(13ページ下枠)
モザイクにするとき(14ページ上枠)
ネガにするとき(14ページ中枠)
ペイント効果(14ページ下枠)

2. ストロボにするとき (STROBE)

①ストロボON/OFFスイッチを「ON」にします。(LEDが点灯します)

②ストロボ間隔調整つまみで画像を調整します。

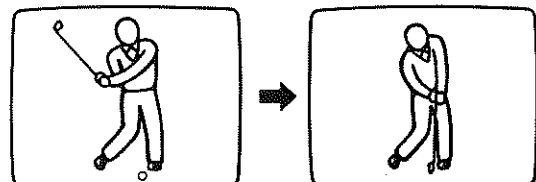
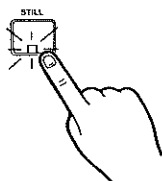


画面が次々と変わっていきます

③再度このスイッチを押しますと通常の画面に戻ります。(LEDが消えます)

3. 静止画にするとき (STILL)

①スチルON/OFFスイッチを「ON」にしますと静止画になります。(LEDが点灯します)



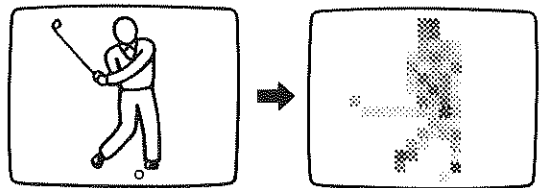
動画

静止画

②再度このスイッチを押しますと動画に戻ります。(LEDが消えます)

4. モザイクにするとき (MOSAIC)

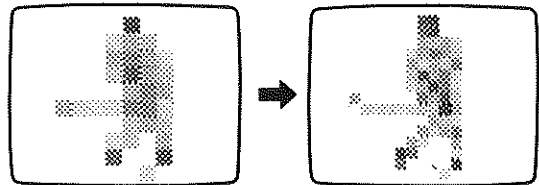
- ①モザイクON/OFFスイッチを「ON」にします。
(LEDが点灯します)



[スイッチ「OFF」]

[スイッチ「ON」]

- ②モザイクサイズ調整つまみで画像を調整します。



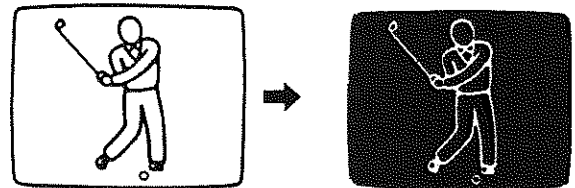
[調整つまみ「LARGE」]

[調整つまみ「SMALL」]

- ③再度このスイッチを押しますと通常の画面に戻ります。(LEDが消えます)

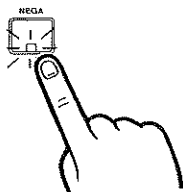
5. ネガにするとき (NEGA)

- ①ネガON/OFFスイッチを「ON」にしますと画像が反転し、ネガ画面になります。
(LEDが点灯します)



通常画面

ネガ画面



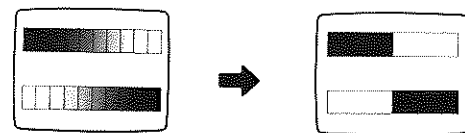
- ②再度このスイッチを押しますと通常画面に戻ります。(LEDが消えます)

ご注意

静止画中やストロボ効果中に、ネガスイッチのON/OFFはできません。

6. ペイント効果 (PAINT)

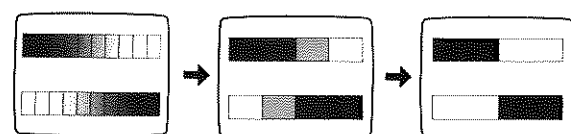
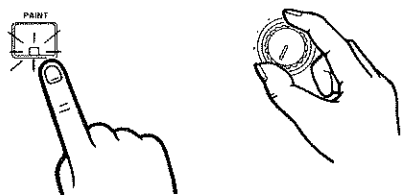
- ①ペイントON/OFFスイッチを「ON」にします。
(LEDが点灯します)



[スイッチ「OFF」]

[スイッチ「ON」]

- ②ペイント効果調整つまみでペイント効果を調整します。

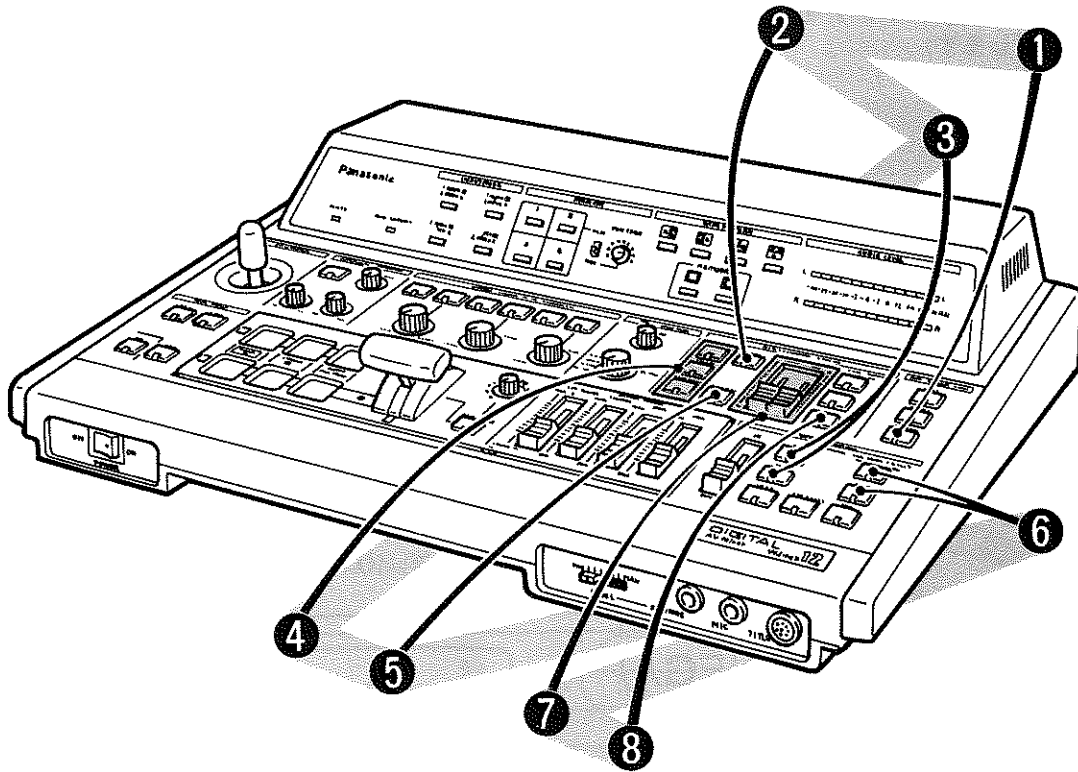


[調整つまみ「LOW」]

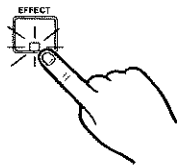
[調整つまみ「HIGH」]

- ③再度このスイッチを押しますと通常の画面に戻ります。(LEDが消えます)

スーパーインポーズモード



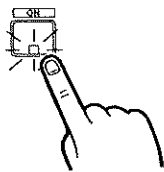
① 録画出力選択スイッチの「EFFECT」を押します。



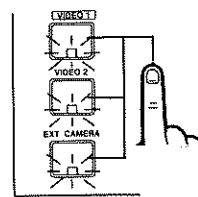
③ フェードモード選択スイッチの「VIDEO」、
「TITLE」のLEDが消えていることを確認します。



② スーパーインポーズON/OFFスイッチを押します。



④ スーパーインポーズ選択スイッチでタイトル
カードを撮影しているカメラを選択し、カメラ
のフォーカスを合わせてください。

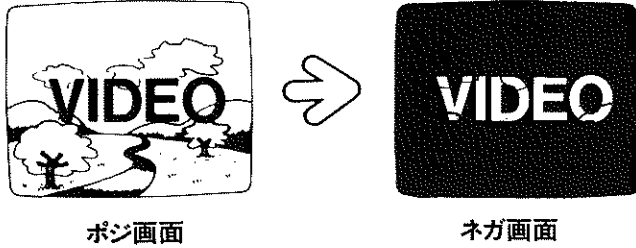


タイトルカード(12ページ参照)

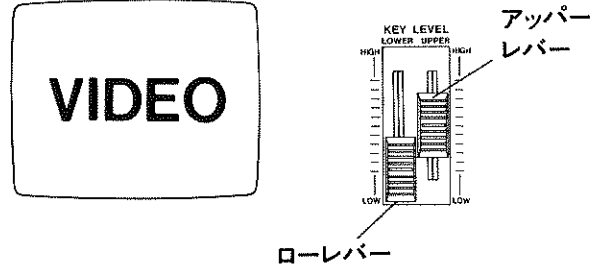


フォーカスを合わせる

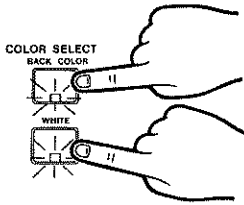
- ⑤リバーススイッチを押して“ポジ”または“ネガ”を選びます。



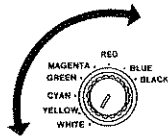
- タイトルカードが白い紙に黒い字でかかっている場合は、ローレバーを「LOW」にしてアッパレバーで調整します。



- ⑥タイトルカラー選択スイッチでスーパーインポーズされたタイトルや、キャラクターの色を選択します。



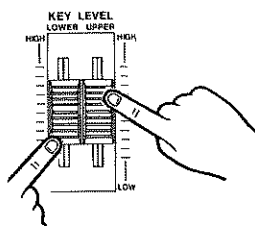
- 「BACK COLOR」を選択した場合はバックカラー選択スイッチでお好みの色に選択してください。



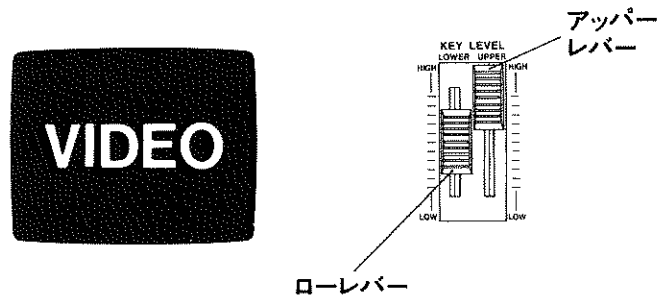
- バックカラークロマ調整つまみでバックカラーの色の濃さを調整します。



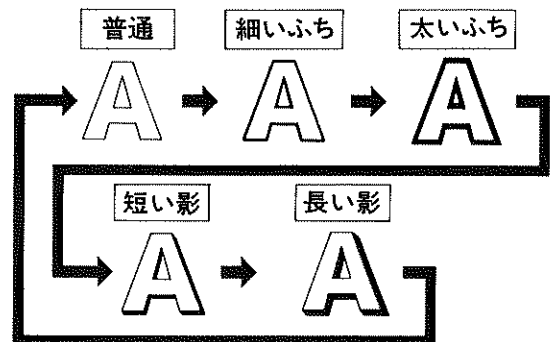
- ⑦キーレベル調整つまみでスーパーインポーズされた文字を調整します。



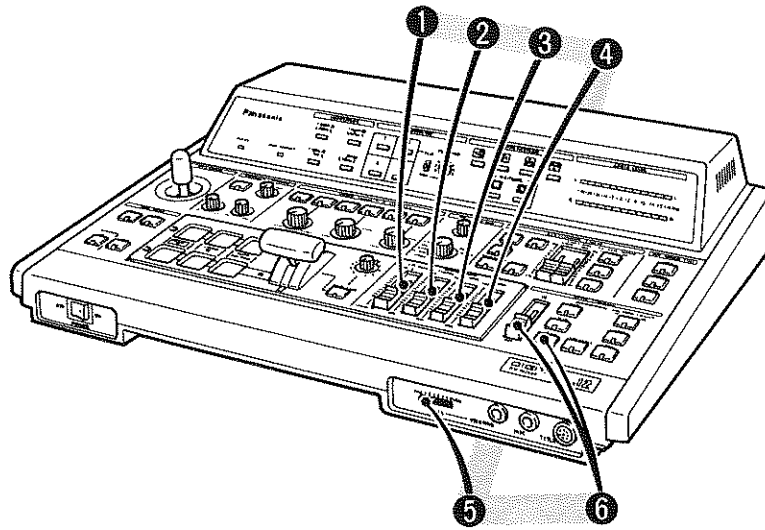
- タイトルカードが黒い紙に白い字でかかっている場合は、アッパレバーを「HIGH」にしてローレバーで調整します。



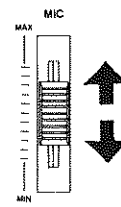
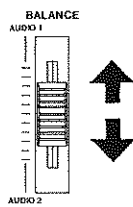
- ⑧タイトル効果スイッチを続けて押すとタイトルが次のように変化します。



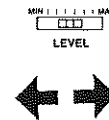
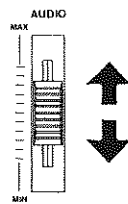
音量調整



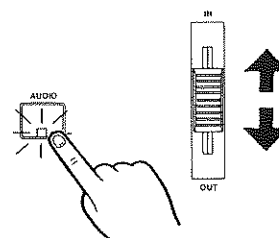
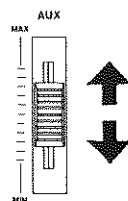
- ① バランス調整つまみでソース1 音声とソース2 音声のバランスを調整します。 ④ マイク入力フェーダでマイクの音量を調整します。



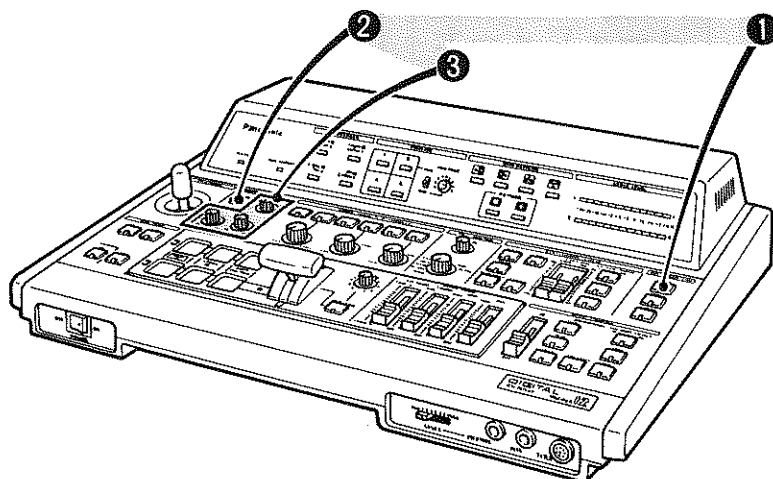
- ② オーディオ入力フェーダでソース1 音声とソース2 音声のミックスされた音量を調整します。 ⑤ ヘッドホンレベル調整つまみでヘッドホンの音量を調整します。



- ③ AUX オーディオ入力フェーダで AUX オーディオの音量を調整します。 ⑥ 音声のフェードイン/アウトはフェードモード選択スイッチの「AUDIO」を押して、フェードレバーで調整します。

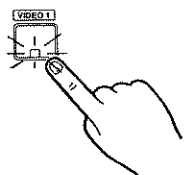


カラーコレクタ

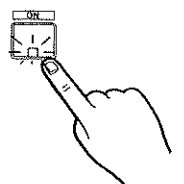


※カラーコレクタ効果は“ビデオ1”の画像にのみ有効です。

①録画出力選択スイッチの「VIDEO 1」を押します。



②カラーコレクタ ON/OFF スイッチを「ON」にします。(LED が点灯します。)



③つまみをまわして調整します。

●色の濃さを調整する場合



右にまわすと濃くなります。

●色調を調整する場合



R方向にまわすと、赤っぽく、
G方向にまわすと、緑っぽくなります。

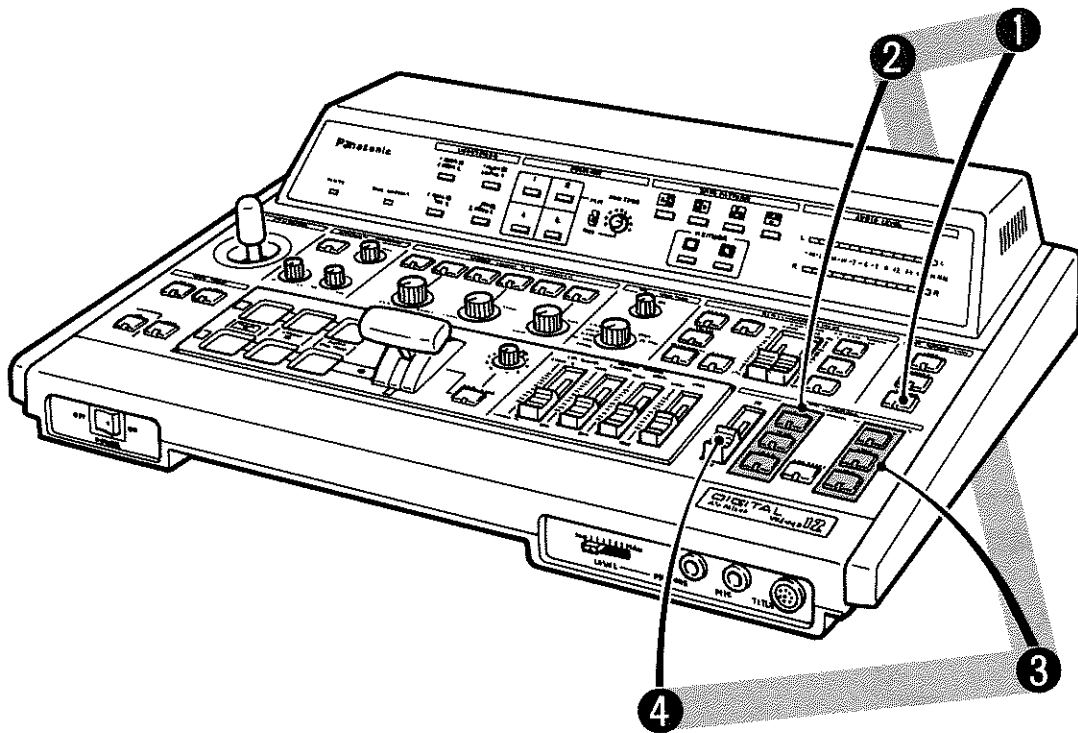


B方向にまわすと、青っぽく、
Y方向にまわすと、黄っぽくなります。

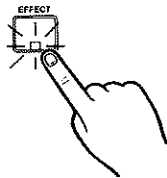
ご注意

静止画中はできません。

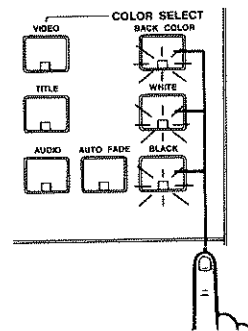
フェードイン/フェードアウト



①録画出力選択スイッチの「EFFECT」を押します。



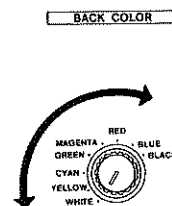
③画像をフェードアウトするときの、お好みの色を選択してください。



②フェードモード選択スイッチを次の通り組み合わせてフェードイン/フェードアウトの内容を選択してください。

スイッチ組み合わせ	フェードイン/フェードアウト内容
「VIDEO」	画像
「VIDEO」、「TITLE」	画像とタイトル
「TITLE」	タイトル
「VIDEO」、「AUDIO」	画像と音量
「VIDEO」、「TITLE」、「AUDIO」	画像とタイトルと音量
「AUDIO」	音量
「TITLE」、「AUDIO」	タイトルと音量

●「BACK COLOR」を選択した場合は、バックカラー選択つまみでお好みの色を選択してください。

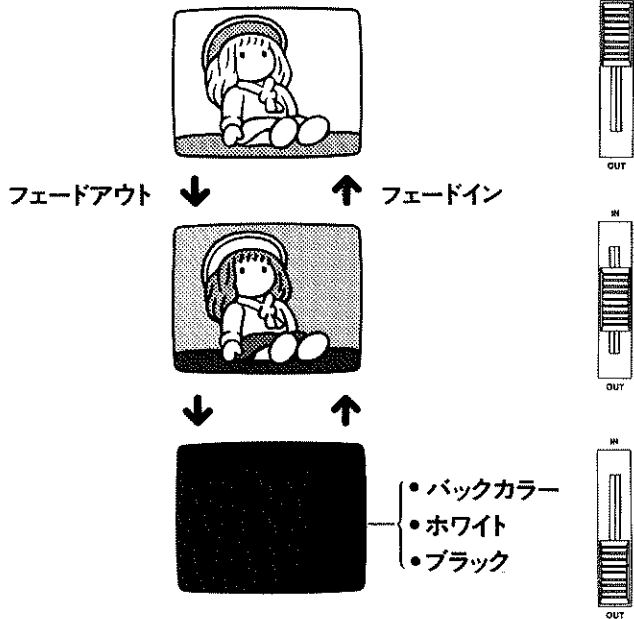


バックカラークロマ調整つまみで、バックカラーの色の濃さを調整します。



④フェードイン/フェードアウトをフェードレバーでコントロールしてください。

[画像フェードの場合]

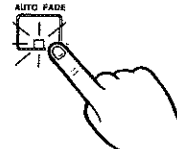


●オートフェードスイッチを使うと、④の操作をワンタッチで行うことができます。

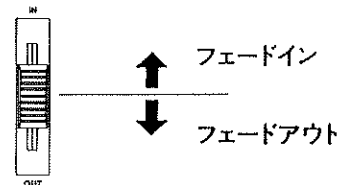
オートフェード

①フェードイン/フェードアウト①～③を行います。

②オートフェードスイッチを押します。
(LEDが点灯します)
点灯中に再度押しても無効です。



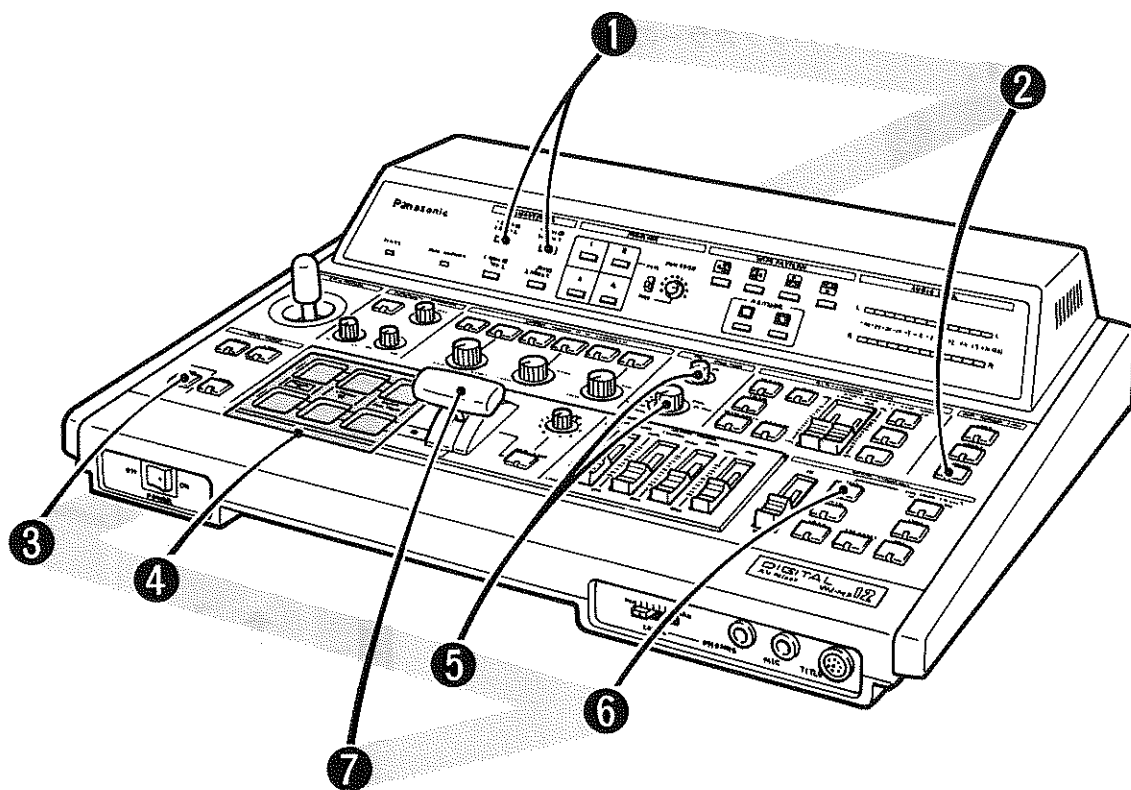
フェードレバーが中央より下ならフェードイン、上ならフェードアウトします。



スピードは一定で約2～3秒です。

③オートフェード終了後、フェードレバーを動かすと、通常動作に戻ります。

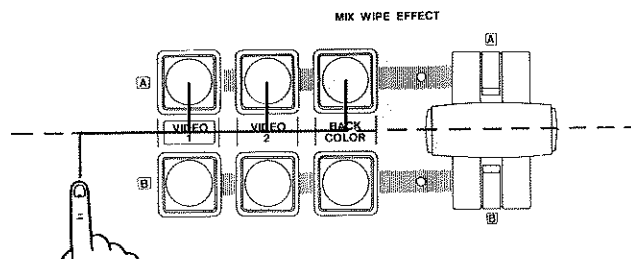
ミックスモード



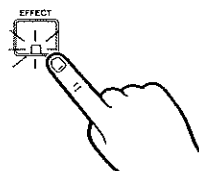
① 入力モード選択スイッチのいずれか1つを押します。



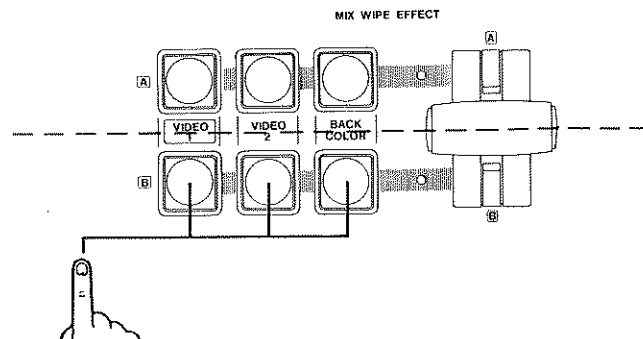
④ ミックス/ワイブレバーの A 側の画像を選びます。



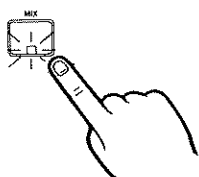
② 録画出力選択スイッチの「EFFECT」を押します。



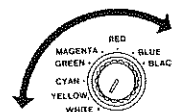
⑤ ミックス/ワイブレバーの B 側の画像を選びます。



③ ミックス/ワイプ選択スイッチの「MIX」を押します。



⑥ 「BACK COLOR」を選択した場合は、バックカラー選択つまみでお好みの色を選択してください。



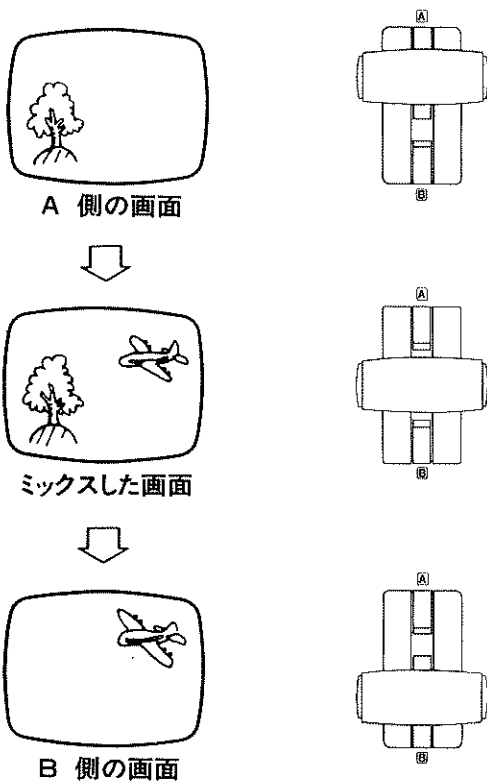
バックカラー調整つまみで、バックカラーの色の濃さを調整します。



- ⑥ フェードモード選択スイッチの「VIDEO」のLEDが消えていることを確認します。

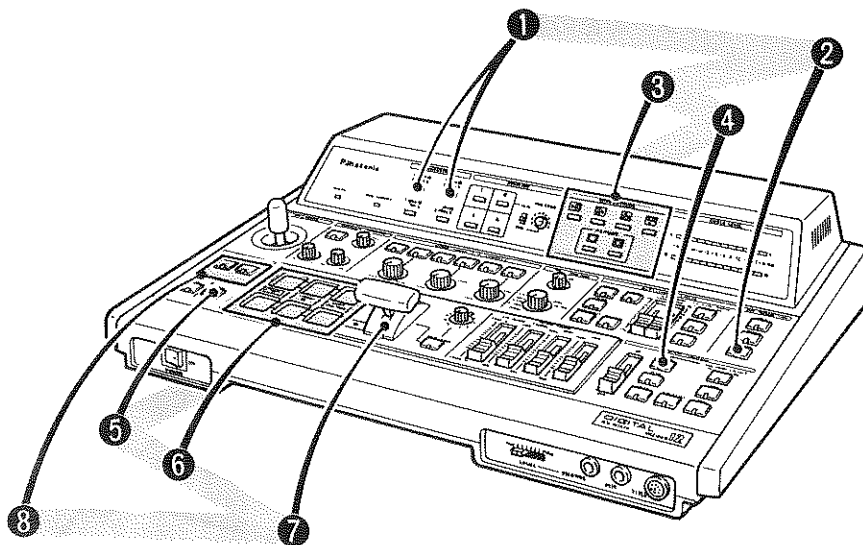


- ⑦ ミックス/ワイプレバーで画像を調整してください。

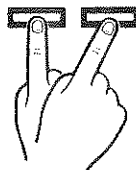


- オートテイクスイッチを使うと⑦の操作をワンタッチで行うことができます。
(29ページ参照)

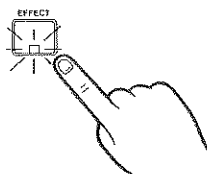
ワイプモード



① 入力モード選択スイッチのいずれか1つを押します。

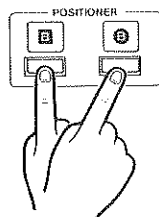
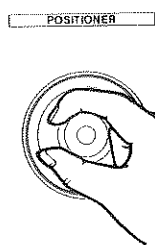


② 録画出力選択スイッチの「EFFECT」を押します。



③ ワイプパターン選択スイッチでお好みのワイプパターンを選択します。

● ④ または ⑤ を選択しますとジョイスティックでワイプ位置を変えることができます。



● 丸か四角以外のワイプパターンを使用する場合は、パターン説明ラベル(付属品)に従ってワイプパターンを選んでください。

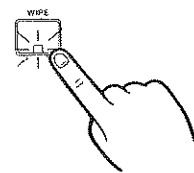
		WIPE PATTERN															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
④	○																
⑤		○															
⑥			○														
⑦				○													
⑧					○												
⑨						○											
⑩							○										
⑪								○									
⑫									○								
⑬										○							
⑭											○						
⑮												○					
⑯													○				
⑰														○			
⑱															○		
⑲																○	
⑳																	○

(例) ⑱のパターンを選択する場合は ④ と ⑤ を押します。(両方のLEDが点灯します)

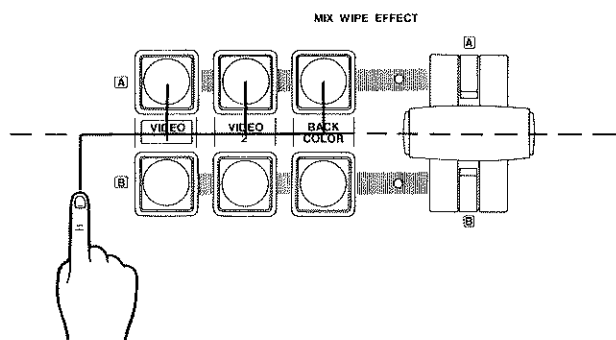
④ フェードモード選択スイッチの「VIDEO」のLEDが消えていることを確認します。



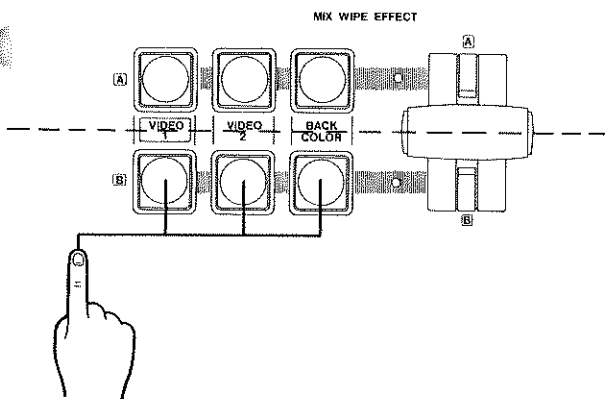
⑤ ミックス/ワイプ選択スイッチの「WIPE」を押します。



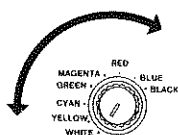
⑥ ミックス/ワイプレバーの A 側の画像を選びます。



ミックス/ワイプレバーの B 側の画像を選びます。



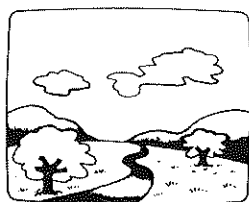
● 「BACK COLOR」を選択した場合は、バックカラー選択つまみでお好みの色を選択してください。



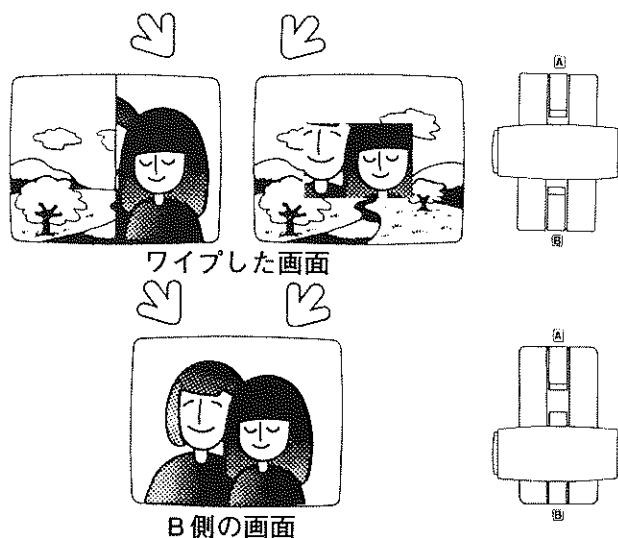
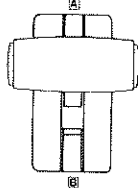
バックカラークロマ調整つまみで、バックカラーの色の濃さを調整します。



⑦ ミックス/ワイプレバーでワイプレベルを調整してください。



A側の画面

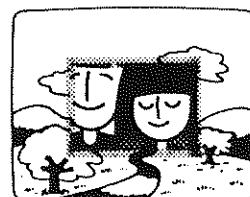


ワイプした画面

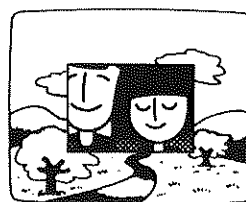
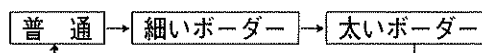
B側の画面

● オートテイクスイッチを使うと⑦の操作をワンタッチで行うことができます。(29ページ参照)

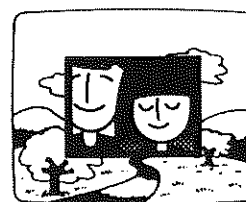
⑧ ワイプの境界にふちどりをつけたいときは、ワイプモード選択スイッチを押します。
[SOFT] ワイプの境界がぼけた感じになります。再度押すと戻ります。



[BORDER] ワイプの境界にふちどりがつきます。続けて押すと次のようになります。



細いボーダー



太いボーダー

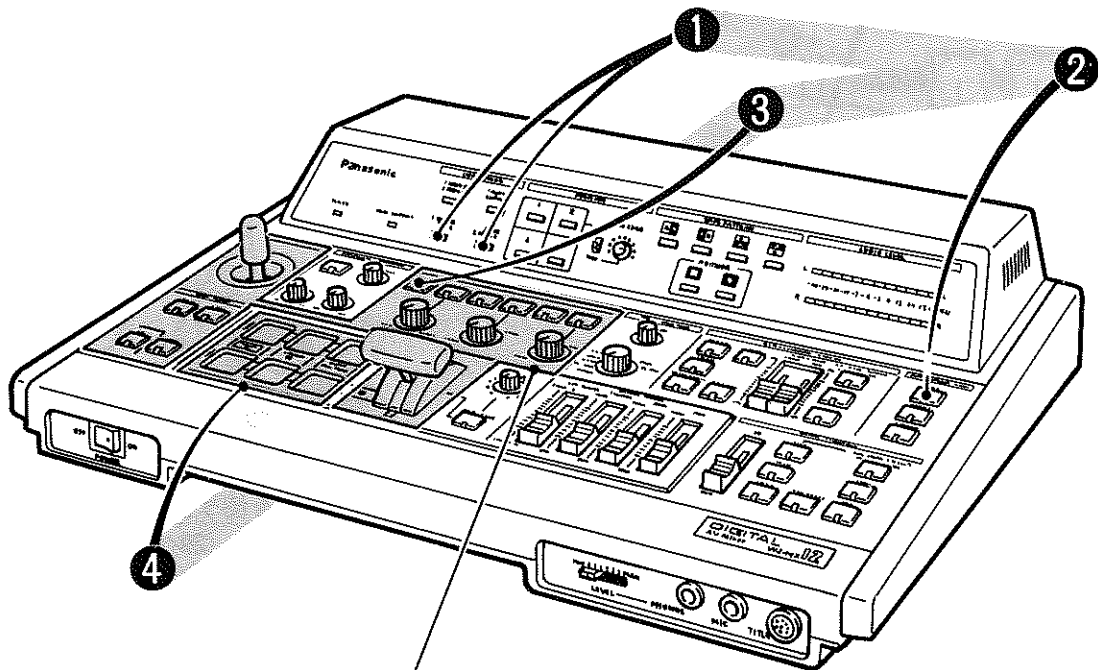
・ ボーダーの色はバックカラーの補色になります。

バックカラー	白	黄	シアン	緑
ボーダーカラー	黒	青	赤	マゼンタ
バックカラー	黒	青	赤	マゼンタ
ボーダーカラー	白	黄	シアン	緑

・ ソフトとボーダー両方一緒にはできません。

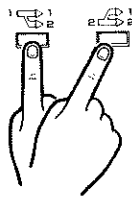
デジタル映像とのミックス/ワイプモード

1. 基本操作

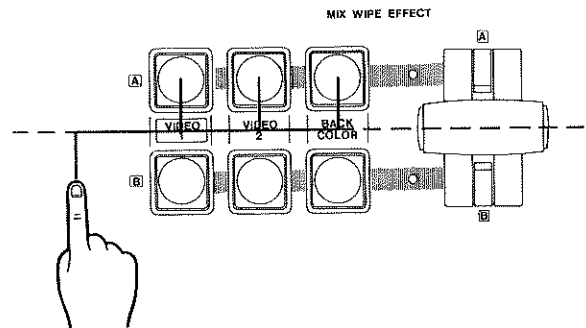


デジタル映像とのミックス (26ページ ⑤~⑧)
 デジタル映像とのワイプ (26ページ ⑨~⑬)

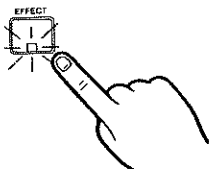
① 入力モード選択スイッチのいずれか1つを押します。



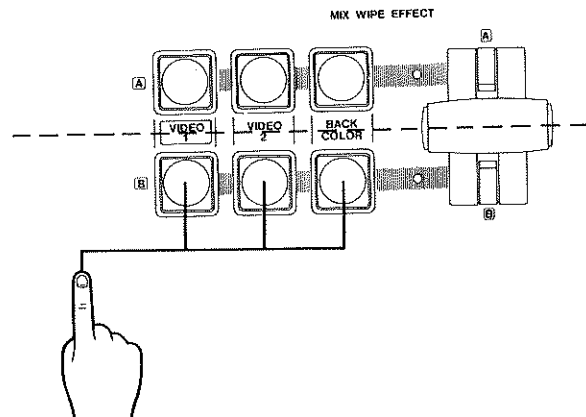
④ ミックス/ワイプレバーで A 側の画像を選びます。



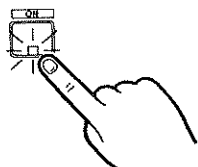
② 録画出力スイッチの「EFFECT」を押します。



④ ミックス/ワイプレバーで B 側の画像を選びます。

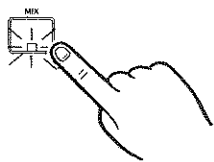


③ デジタル効果 ON/OFF スイッチを「ON」にします。
 (LED が点灯します)

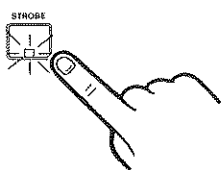


2. デジタル映像とのミックス

⑤ ミックス/ワイプ選択スイッチの「MIX」を押します。

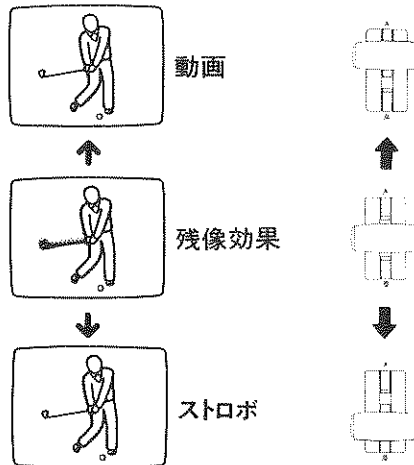


⑥ ストロボ ON/OFF スイッチを「ON」にします。
(LED が点灯します)

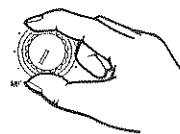


⑦ ミックス/ワイプレバーをほぼ中点にすることにより残像効果が得られます。

[A 側にビデオ 2、B 側にビデオ 1 を選択した場合]

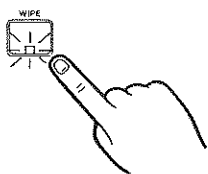


⑧ 残像の時間はストロボ間隔調整つまみで調整することができます。





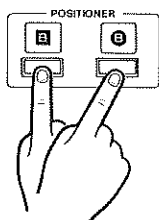
3. デジタル映像とのワイプ

⑨ ミックス/ワイプ選択スイッチの「WIPE」を押します。



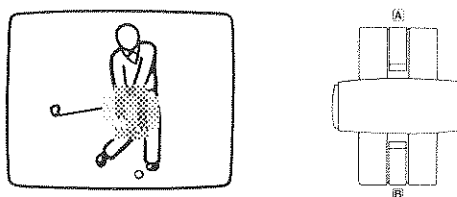
⑩ ワイプさせた部分にかけるデジタル効果(モザイク、ペイント、静止画、ストロボ)を選択します。(13、14ページ参照)

⑪ ワイプパターン選択スイッチで  または  のいずれか1つを押してワイプの形(丸、四角)を選択します。

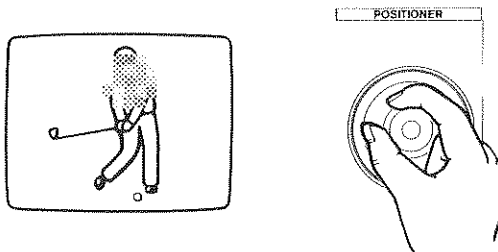


⑫ ミックス/ワイプレバーでワイプの大きさを調整します。

[A 側にビデオ 2、B 側にビデオ 1 を選択した場合]

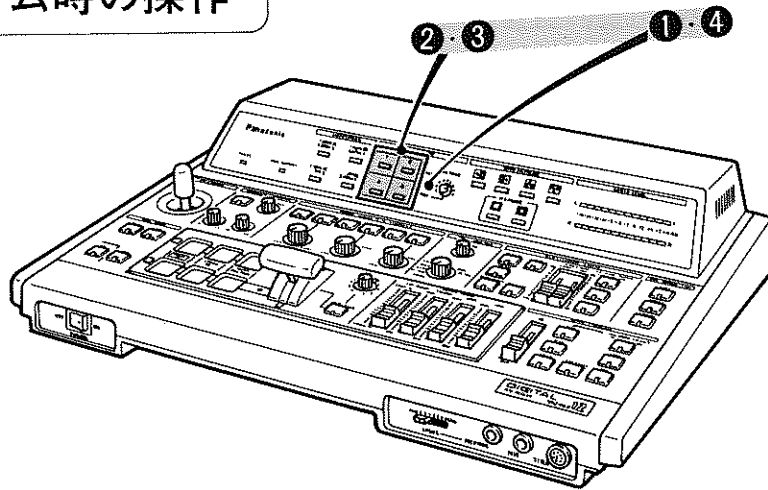


⑬ ジョイスティックでワイプの位置を調整します。



プログラマブル・エフェクト

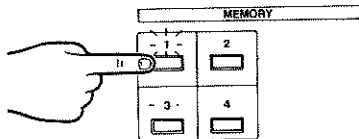
1. プログラム時の操作



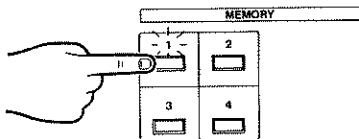
- ① プログラム / ランモード切換スイッチを「PRG」側にします。



- ② プログラムしたい効果の状態にスイッチを設定し、プログラマブルエフェクトメモリスイッチを押します。(押されたスイッチのLEDが1秒点灯します)



- ③ プログラムしたい次の効果の状態にスイッチを設定し、②で押したプログラマブルエフェクトメモリスイッチを押します。(スイッチのLEDが1秒点灯します)



- ④③の操作をくり返して、プログラムしたい効果をすべてメモリしたら、プログラム / ランモード切換スイッチを「RUN」側にします。



- プログラムできる効果は、プログラマブルエフェクトメモリスイッチ以外の全てのプッシュスイッチと、ストロボ・モザイク・ペイントの調整つまみおよびバックカラーの選択つまみです。

- 4種類の連続効果をメモリできますが、1つのメモリに書き込めるステップ数は1ステップで変化するスイッチの数によって異なります。
最大 55ステップまで

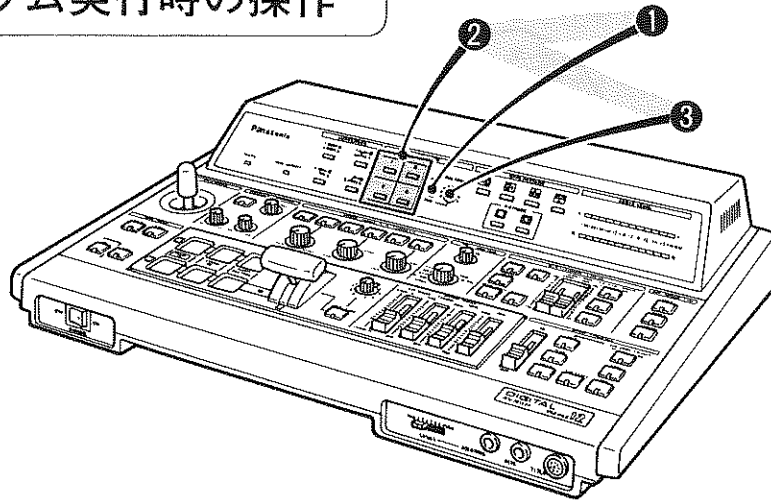
- 一度メモリしたプログラマブルエフェクトメモリスイッチに、再度メモリすると、前のデータは消されます。

- オートテイクまたはオートフェードをプログラムするときは、オートテイクスイッチまたはオートフェードスイッチを押し、画面上で動作が終了したことを確認してから、プログラマブル・エフェクトメモリスイッチを押してください。
オートテイクの速度は、オートテイクスピード調整つまみで変えられます。

- メモリ容量がオーバーする直前になると、4つのプログラマブルエフェクトメモリスイッチのLEDが点滅し知らせます。

- メモリ内容は、10年以上バックアップされます。

2. プログラム実行時の操作



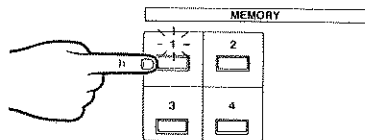
- ① プログラム/ランモード切換スイッチを「RUN」側にします。



ご注意

オートテイクのスピードは、このつまみでは変わりません。オートテイクスピード調整つまみで調整してください。

- ② 実行したいプログラムのプログラマブルエフェクトメモリスイッチを押します。(LEDが点滅します)



プログラムされた初期状態が再現されます。

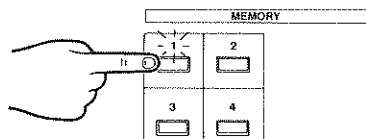
ご注意

この状態のときは、全てのスイッチが働きません。

- ③ プログラムが終了すると、スイッチはプログラム実行時の設定のままで、通常モードに戻ります。(LEDが消えます)

ただし、ストロボ・モザイク・ペイント・バックカラーの調整は、通常モードに戻った時点で、現在の調整つまみ位置の動作になります。

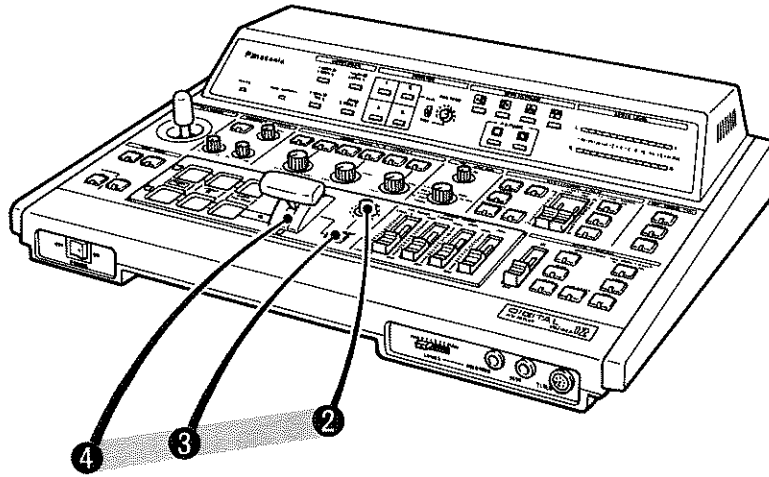
- ④ 再度、同じスイッチを押すと、プログラムがスタートし順番に実行します。(LEDが点灯します)



- 実行速度をかえたいときは、ランスピード調整つまみをまわして調整してください。



オートテイク



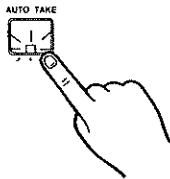
① ミックスモードまたはワイプモードの①～⑥までを行います。

② オートテイクスピード調整つまみでスピードを調整します。

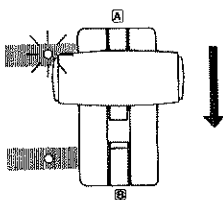


● 右にまわすと速くなります。
約0.2秒 ←→ 約2秒

③ オートテイクスイッチを押します。(LEDが点灯します)
点灯中に再度押しても無効です。



LEDの点灯(点滅)している側から点灯(点滅)していない側へ動きます。



状 態	AのLED	BのLED
完全にA側に倒れているとき	点灯	OFF
A側に近いとき	点滅	OFF
B側に近いとき	OFF	点滅
完全にB側に倒れているとき	OFF	点灯

④ オートテイク終了後ミックス/ワイプレバーを動かすと通常動作に戻ります。

故障と思われましたら

症 状	調 べ る と こ ろ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に差し込まれていますか？
映像が出ない	●カメラのレンズキャップは外しましたか？ ●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ ●ケーブルが正しく接続されていますか？(10ページ) ●ビデオ1,2がフェードアウトされていませんか？ ●ソース1、ソース2 YC/COMP 切換スイッチが逆になっていませんか？
外部カメラ入力コネクタに接続したカメラの映像が流れる	●カメラに外部同期(GEN-LOCK)をかけていますか？(10ページ)
スーパーインポーズの文字や絵柄がきれいに出ない	●タイトルカードが暗い所に設置されていませんか？ ●キーレベル調整つまみで正しく調整していますか？(16ページ) ●タイトルカードに書かれている文字や絵柄が小さすぎませんか？ ●タイトルカードを写しているカメラのピントは合っていますか？
外部カメラの映像が出ない	●スーパーインポーズ ON/OFF スイッチがOFFになっていませんか？(15ページ) ●タイトルがフェードアウトされていませんか？ ●キーレベル調整つまみで正しく調整していますか？(16ページ)
映像がぼける	●レンズにゴミやホコリが付着していませんか？ ●カメラのピントは正しく調整されましたか？
色が見つからない	●モニタテレビは正しく調整されていますか？
音が出ない	●音量がフェードアウトされていませんか？
ミックス、ワイプモードのときミックス/ワイプレバーを動かしても画像が変化しない	●入力モード選択スイッチが「A」:「B」になっていませんか？ ●A側、B側に同じ信号を選択していませんか？(21、24ページ) ●ワイプパターン選択スイッチが選択されていますか？(23ページ)
録画出力選択スイッチの「VIDEO 1」、「VIDEO 2」を押しても画像が切り換わらない	●後面の「REC VIDEO OUT」にモニタテレビが正しく接続されていますか？
同期が乱れる	●VTRのトラッキングは正しく調整されていますか？
全てのスイッチがきかない	●プログラマブル・エフェクトスタンバイ中(プログラムエフェクトメモリスイッチが点滅)になっていませんか？(28ページ)

定格・付属品

■ 定 格

電 源	AC100V 50/60Hz	※	音 声 出 力	R E C 1 : -8dB 1kΩ (RCA ピンジャック) R E C 2 : -8dB 1kΩ (RCA ピンジャック) P H O N E S : -30dB 8Ω (大型単頭ジャック)
消 費 電 力	32W	周 波 数 特 性	20 ~ 20,000Hz -3dB	
映 像 入 力	SOURCE 1 : 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω ループスルー付 75Ω 自動終端 (BNC コネクタ) 1.0Vp-p Y/C 入力 75Ω 終端 (S コネクタ)	ゲ ン ロ ッ ク 範 囲	S Y N C : 15.734kHz ± 300Hz S C : 3.57945MHz ± 40Hz	
	SOURCE 2 : 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω ループスルー付 75Ω 自動終端 (BNC コネクタ) 1.0Vp-p Y/C 入力 75Ω 終端 (S コネクタ)	解 像 度	水 平 500 本 (Y/C)、400 本 (COMP)	
	EXT CAMERA : 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω (BNC コネクタ)	S / N	V I D E O 1 : 48dB 以上 (Y/C) V I D E O 2 : 55dB 以上 (Y/C) A U D I O : 50dB 以上	
映 像 出 力	REC VIDEO : 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω (BNC コネクタ) × 2 1.0Vp-p Y/C 出力 75Ω (S コネクタ) × 2	ク ロ ス ト ー ク	-55dB 以下 (10kHz)	
	PREVIEW : 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω (BNC コネクタ)	特 殊 映 像 効 果	ス ト ロ ボ、ス テ ル、モ ザ イ ク、ネ ガ、ペ イ ン ト、ミ ッ ク ス、ワ イ プ、ス ー パ ー イ ン ボ ー ズ、フ ェ ー ド イ ン / ア ウ ト、カ ラ ー コ レ ク タ	
		果 音 声	ミ ッ ク ス、フ ェ ー ド	
同 期 出 力	S Y N C 1.0Vp-p NTSC コンポジット/75Ω (BNC コネクタ)	ワ イ プ パ タ ー ン	17 種 類	
		バ ッ ク カ ラ ー	イ エ ロ ー、レ ッ ド、マ ゼ ン ダ、ブ ル ー、グ リ ー ン、シ ア ン、ホ ワ イ ト、ブ ラ ッ ク	
※ 音 声 入 力	SOURCE 1 : -10dB 15kΩ ループスルー付 (RCA ピンジャック)	キ ャ ラ ク タ 入 力	WV-KB12 使用 (10P DIN コネクタ)	
	SOURCE 2 : -10dB 15kΩ ループスルー付 (RCA ピンジャック)	周 囲 温 度	0℃ ~ +40℃	
	A U X : -10dB 15kΩ (RCA ピンジャック)	寸 法	446 (幅) × 115 (高さ) × 357 (奥行)	
	M I C : -60dB 不平衡 (大型単頭ジャック)	重 量	約 5.5kg	
		仕 上 げ	AV アイボリー塗装 (マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色)	

※ SOURCE1、SOURCE2、PHONES はステレオ対応

■ 付 属 品

- パターン説明ラベル..... 1
- タイトラー取付台..... 1

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間……お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番 WJ-MX12
販 売 店 名				電話 () —
最 寄 り の 当 社 ご 相 談 窓 口				電話 () —

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒226 横浜市緑区佐江戸町600 ☎ (045) 932-1231 (大代表)